

社教連会報

発行 一般社団法人 全国社会教育委員連合

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-1-6
日本弘道会ビル7階 TEL 03-6380-8540

千葉からのメッセージ

新しい分科会の在り方を考える



千葉県社会教育委員連絡協議会

会長 中山 清志

「全国約1,700の市町村が地域の属性に合った主体的な地域づくりをしていくために、そこに住む住民やその地域づくりを担う人材をどう育てるか、大変大きな課題です。社会教育は、その役割を担わなければいけません。」

全国各地で我々は今一度社会教育委員一人一人の責任において、あるいは社会教育委員会議の組織の責任において、まちづくり・人づくりに貢献する社会教育を構築していきたい。」と大橋謙策会長は、昨年の全国社会教育研究大会（大分大会）で力強く述べられました。あれから間もなく一年になります。

我々の組織（全国社会教育委員連

合）は、創立以来、半世紀以上にわたり社会教育の推進者として様々な取り組みを重ねてきました。

昨今の社会情勢は、高齢者人口の増大と生産者人口の減少。学校の抱える課題は、複雑化、多様化。地域社会では、支え合いの希薄化、家庭の孤立化等、いずれも国が抱える大きな課題です。

社会教育のさらなる充実が求められている今こそ、社会教育委員は人づくり・まちづくりに向けて具体的に行動しなければなりません。

本大会のスローガンは、「千葉で語り合おう！ 未来を築く人づくり・まちづくり」です。研究主題「学

び合い、支え合い、高め合う社会教育の創造」について社会教育委員が「いま何をすべきか」大いに議論と交流を深め、地域のオピニオンリーダーとしての社会教育委員の役割を再確認して参りたいと思います。

千葉県が提案する分科会は、発言しやすいように一グループ6人の小集団を編成し参加者一人一人が十分話し合える時間を確保します。アイスブレイクを入れて打ち解けた雰囲気の中で話し合い、明日からの活動に生かせるアイデアが生まれるようにします。

提案説明の時間は一人10分とし、話し合える時間を80分予定しています。これらを通して大会スローガンに迫る分科会を目指します。

千葉県は、歴史、文化、自然など多様な特長に恵まれています。山は緑をたくわえ、川は清い。黒潮は父なる恵みをもたらして大利根は母なる流れをたたえる。大地に菜の花輝く千葉、うるわしのわが郷土。

参加者の皆様には、時間の許す限り本県の自然や文化に触れていただくことをお願い申し上げます。おもてなしの心でお迎えいたします。

北から南から

志高く大きな心で

人のために

長野県社会教育委員連絡協議会

会長 小池 玲子



これは私が運営委員を務めるK小学校の学校教育目標です。その「大きな心」とは、「思いやる心」「支え合う心」「慈しむ心」「許す心」と定めています。子どもの学びの先にある目指す大人の姿が見えてくる目標であり、私の活動の指針となっています。

私には抱く志があります。子どもたちが「ここで育つてよかった」、父母が「ここで子育てができてよかった」、お年寄りや地域の人々が「ここで暮らせてよかった」と思え

るような魅力ある地域にしていきたいのです。一人一人が生き生きと笑顔で心豊かに暮らしていける社会を築き、それが、今世代、次世代、その次の世代以降も続いて欲しいのです。

私が暮らす長野県諏訪地方では、今年諏訪大社の式年造営御柱大祭(御柱)が行われ、多くの老若男女の氏子が様々な役割を担って祭りに参加しました。祭りを通して民は古代の先人に思いを馳せ、若者は技の伝承を学び、子どもたちは畏敬の念を抱きます。共に汗を流し、皆が心一つにして協力しなければ曳航はできず、その姿はまさに、地域社会に参加・参画する姿です。古より地域には、その仕組みがあつたと感じます。

長野県では、平成29年度中に、全ての公立小中学校が、信州型コミュニティスクールとなるように活発に推進しています。K小学校では運営委員会が設置されて三年になります。様々な活動が行われています。7月上旬には「下校途中の大規模災害時の児童避難訓練」が行なわれました。学校と地域の方々と綿密な計画をして行いましたが、次々と想定外のこと

が起りました。避難所の受け入れをした地域の方々からは「地区の防災計画を見直す機会となった」「子どもの行動や特性をしつかり理解したい」、また先生からは「一年生も一人で帰る時の訓練をさせたい」等の反省が出されました。学校と地域が子どもの育ちを話し合い、共有していく中で、地域に根ざした教育が推進され、子ども、先生、地域が共に育つ新しい社会教育の仕組みが出来てきていると思われ

ます。私は社会教育委員になって13年になります。私の社会教育委員活動は「社会教育って何?」「社会教育委員って何するの?」と疑問ばかりからのスタートでしたが、研修や情報交換をする中で社会教育の役割や使命を学び、あらためて今、社会教育の範囲の広さや使命の重さをひしひしと感じています。これからも志をもち、刻々と変わっていく社会情勢や地域課題にアンテナを張り、多くの方々と学びや情報を共有し、地域に貢献できる人材に、まずは自分自身がなれるように努めたいと思います。

社教情報 No.75

社会教育の明日を拓く

特集テーマ 学び合い、支え合い、高め合う、社会教育の創造

<巻頭言> 地域学校協働本部とは何か

<実践で語る戦後の社会教育史> 大西 康之氏(群馬県)

<答申・提言> 第9期東京都生涯学習審議会の建議

<社会教育委員Q&A>

<解説> 中立性

<この人に聞く> 北川フラム氏

<社会教育委員の活動> 千藤尚志(千葉県)

<社会教育委員リレートーク> 佐賀県 → 福岡県

明石 要一
取材 上條 秀元
梶野 光信
神部 純一
山崎 清男
取材 清國 祐二

編集・発行 (一社) 全国社会教育委員連合
TEL 03(6380)8540 FAX 03(6380)8541



これからの社会教育のかたち

徳島県社会教育委員連絡協議会

会長 馬場 祐次郎



いま「地方創生」が全国的に関心を集める中、わが徳島県は消費庁の移転問題を始め話題になることが多いが、住民が主体的に地域づくりに取り組み、「元気な町・村」として注目されているところも結構ある。

その一つ、徳島県内唯一の村である佐那河内村を紹介したい。ここは徳島市に隣接するので、市内から車で30分程度と交通の便はすごく良い。でも自然がとても豊かな中山間地域で、最近ではUターンや子育てのためといった理由で移住して来る人もいて、そういう人の中で、地域課題を解決するための興味深い活動を始めている人

も現れている。

Uターンで村に帰った若者を中心にして展開されている「村育（むらいく）推進協議会」の取組は、村の未来を担う子供たちの成長を支える仕組みで、放課後や土曜日等に、村の豊かな自然や人材といった教育資源を活用しながら、「川遊び」、「ダンス教室」や「ニュージールランドと佐那河内村をつなぐSkyline授業」など、子供たちにユニークな学習・体験活動の機会が村のあちこちを舞台に提供されている。

また、村の魅力に惹きつけられて子育てのため古民家に移住してきた家族が中心となって展開している「森のようちえん」の取組は、育児中の母親たちが集まり、豊かな自然環境の中で乳幼児を遊ばせながら、お互いの交流を深めている活動であり、世代間の交流にもつながっている。

もちろん、婦人会のメンバーを始め女性たちの活動も活発で、村に伝わる昔話を題材にした大型紙芝居の上映や、伝統料理である「いり飯」の伝承活動等、子供たちを対象とした様々な活動も展開されている。

こうした住民の主体的な活動展開の背景には、急速に進む人口減少の中で、未来につながる村づくりを進めるため平成22年に立ち上がった「村づくり住民会議」の果たす役割が大きい。これは、住民の自立的・主体的な組織であり、行政主導ではない「住民が主役の村づくり」の展開の基盤になっている。とりわけ、集落ごとにある住民は必ず加入しなければならぬ「常会」と呼ばれる自治組織・団体が、村民同士あるいは村民と村づくりの支援者等を縦横斜めに結ぶネットワークの要になっている点に注目したい。

地域の活性化を図っていくためには、地域の課題に気付き、主体的に課題解決に参画する人材の育成が不可欠である。これは社会教育が一番得意とするところであり、今後、住民の「学び」と「地域づくり」をつなぐ「仕組み」を地域で創っていかれるかどうか、「元気なまち・むら」の鍵であると考えている。社会教育関係団体の覚醒にも期待したい。

—改訂版—

社会教育委員のためのQ&A

社会教育委員 必読の一冊

新版

*法改正に対応しています



A5判 定価1,296円(税込)
企画・編集/
(一社)全国社会教育委員連合
発行/(株)美巧社

主な内容

社会教育と生涯学習
「諸計画を立案する」とは
教育委員会への助言の方法
「環境の醸成」とは
都道府県教育委員会の事務
「公の支配に属しない」とは

「組織的な教育活動」
「諮問に応じ」とは
社会教育委員制度の活性化
市町村教育委員会の事務
「社会教育を行う者」とは
「専門的技術的指導又は助言とは」

社会教育委員の 答申等への取り組み 調査の中間報告

本年6月13日付「社教連第28-13」によって、都道府県社会教育委員連絡協議会等が把握されている、①社会教育委員による「答申等」、②社会教育委員のための「手引き」の作成、③「市町村の社会教育委員に関するデータ」等について照会しました。

これらについては目下集計中ですが、上記の①について、8月15日現在（回答の未着が13県、6指定都市）の集計概況を紹介します。

■都道府県・ 政令指定都市では常態化

社会教育委員が答申等を行う活動は、社会教育委員を委嘱する地方自治体の態様（都道府県、政令

指定都市、市、町、村）によって大きな差異があります。この取り組みは、都道府県及び政令指定都市の社会教育委員の方が活発で、市町村で低調であることが明らかです。

平成27年度中には9県（宮城県、東京都、滋賀県、鳥取県、島根県、山口県、徳島県、宮崎県、鹿児島県）、6政令市（札幌市、仙台市、さいたま市、川崎市、相模原市、新潟市）で、諮問に応える「答申」や「建議」「意見具申」「報告」等が行われました。このほか審議中のケースが多くあることから、都道府県、政令市では答申等への取り組みが常態化している感があります。

平成27年度中に行われた答申等の内容としては、昨今の世相や行政の重要施策を反映するように、子育て・家庭教育（山口県、宮崎県、鹿児島県、相模原市）、学校支援及び学校・地域・家庭の連携・協働（宮城県、東京都、仙台市）、コミュニティや生涯学習社会の構築（滋賀県、鳥取県、島根県、徳島県、札幌市）などに関するものが多くなっています。

■市町村では低調

しかし、前述したように市町村の社会教育委員の答申等への取り組みは低調です。約1,700市町村教育委員会のうち、答申等が把握されたのはわずか26市町村にすぎず、社会教育委員制度が市町村において機能しているか否かが懸念されます。このため、社会教育の現場・拠点としての市町村における、社会教育委員制度の機能化と活発化は喫緊の課題といえます。

なお、26の市町村で取り上げられたテーマとしては、やはり「子育て・家庭教育支援」に係るものが多く（神奈川県、二宮町、同山北町、同小田原市、長野県の下諏訪町、同松本市、滋賀県の湖南市、同愛荘町、広島県の三次市）、次いで「生涯学習・社会教育の推進計画」に関するもの（秋田県の大館市、神奈川県、藤沢市、同南足柄市、長野県の駒ヶ根市、滋賀県の甲賀市、和歌山県の橋本市、同有田市）となっています。そのほか、「社会教育施設」（神奈川県、茅ヶ崎市、長野県の諏訪市）、

「地域のつなぎ・連携」（神奈川県、寒川町、山口県の防府市）、「学習成果の活用」（神奈川県、横須賀市）、「シニア世代対応」（沖縄県の浦添市）と多様なものがあります。

ユニークなのは中野市（長野県）のケースです。同市の社会教育委員の場合、会議体としての提案ではなく、一人ひとりの社会教育委員からの教育委員会に対する所見や提言が印刷物にまとめられています（平成27年度のみであるのか否かは未確認）。「独任制」という社会教育委員制度の特徴をこうした方法により生かされている点で異彩を放っています。

次に、社会教育の現場・拠点としての市町村において、社会教育委員制度が機能し活発化されることを願って、各県の社会教育委員連絡協議会事務局からの報告をもとに、市町村における社会教育委員（会議）による答申や建議等を別掲します。



【別掲】 市町村における社会教育委員による答申・建議等

秋田県：大館市社会教育委員の会議 2016.3.23 「第6次大館市社会教育中期計画について」
栃木県：宇都宮市社会教育委員の会議 2015.10 「社会の要請」と求められる学習 那須塩原市社会教育委員 2015.4.23 平成25・26年度社会教育委員からの提言
神奈川県：藤沢市社会教育委員の会議(建議) 2016.6.27 次期生涯学習ふじさわプランにおける社会教育委員会議提言 横須賀市社会教育委員の会議(建議) 2016.3.31 「学びの成果を生かしていく仕組みづくり」を推進する上での現場ニーズや課題等の検討について 茅ヶ崎市社会教育委員の会議 2016.3.17 社会教育施設, 社会教育関係団体等の活動の活発化に向けて～地域の教育力を高めるために～ 寒川町社会教育委員の会議 2016.2.17 「地域をつなぐ社会教育の在り方について」 二宮町社会教育委員の会議 2016.3.22 地域の人材ボランティアの活用～放課後子ども教室サポーター 山北町社会教育委員の会議(建議) 2016.2.9 「子どもたちの日常の過ごし方」について一地域全体での子育て支援策を柱とする社会教育の対応 南足柄市社会教育委員の会議(建議) 2016.2.25 南足柄市新生涯学習推進プランの一部改訂について 小田原市社会教育委員の会議 2016.7.21 「地域における学びの場のあり方について」
山梨県：甲州市社会教育委員の会議 2016.2.10 わだつみ平和文庫の利用について
長野県：岡谷市社会教育委員の会議(意見) 平成28.3.8 「社会教育行政のより一層の推進を図る」ため 諏訪市社会教育委員会議(提言) 平成28.3.15 「社会教育施設の整備について」「社会教育分野の事業について」 下諏訪町社会教育委員会(答申) 平成28.3.24 少子・高齢化社会が進行する中, 未来の下諏訪を担う子どもたちの社会的・精神的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を身につけていくための手立てはどうあったらよいか 駒ヶ根市社会教育委員(答申) 平成27.10.1 駒ヶ根市生涯学習プランの見直しについて 松本市社会教育委員会議(提言) 平成27.7.30 子どもの健やかな育ちへの大人のかかわり～人とのつながり, コミュニケーションのできるまちづくりをめざして 中野市社会教育委員 平成27.4 心豊かな生涯学習社会をめざして一中野市社会教育委員一
滋賀県：甲賀市社会教育委員の会議(提言) 2016.3.29 地域コミュニティにおける社会教育(公民館の役割)～地域コミュニティの構築～ 湖南市社会教育委員会議 2016.3.31 基本的な生活習慣パンフレット作成の取り組み 愛荘町社会教育委員会議(提言) 2015.9.4 あいさつができるまちづくりの推進について
和歌山県：橋本市社会教育委員会議 平成27.11.24 「橋本市生涯学習推進計画に向けた提言書」 有田市社会教育委員会議(答申) 平成27.10.27 「有田市生涯学習推進計画策定について」
広島県：三次市社会教育委員会(提言) 平成27.12 「家庭の教育力の向上にむけて」
山口県：防府市社会教育委員の会議(中間報告) 2015.11.27 防府市における学校・家庭・地域の連携・協働についての具体的な方策について
沖縄県：浦添市社会教育委員の会議(提言) 平成28.3.30 シニア世代の活力を地域に生かす施策のあり方について

注1：補助金及び単年度の施策等に関する答申等, 諮問中の案件については割愛

注2：元号, 西暦の表記は報告書の表記に準拠

第58回全国社会教育研究大会千葉大会
第47回関東甲信越静岡ブロック社会教育研究大会 ご案内

～ 千葉で語り合おう！ 未来を築く 人づくり・まちづくり ～

今日の社会は、さまざまな問題が複雑化・多様化しています。グローバル化や高度情報化が急速に進む一方で、人口減少や少子高齢化、核家族化、住民相互のつながりの希薄化による地域コミュニティ崩壊への危惧、いじめ、児童虐待、子どもの貧困等、私たちが生活を営んでいく上で最も身近な学校、家庭、地域においても、その在り様が、変化してきています。

このような中であって、地域主権が唱えられ、「新しい公共」の考えが、広まりつつあります。特に、東日本大震災以降、地域の絆が見直され、地域のつながりを活かしたさまざまな学習を通じて、人づくり・まちづくりをめざす社会教育への期待は一層高まってきていると言えます。

千葉県では「資源の乏しい我が国にとって、人材こそ最大の資源であり、財産である」という先達の教えを踏まえ、人づくりの基盤となる教育を推進しております。平成27年4月から「ふれる」、「かかわる」、そして「つながる」を基本的な取組方針とした第2期千葉県教育振興基本計画「新 みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」に取り組んでいます。その中では、地域の教育力の向上を課題のひとつとして捉え、生涯学習社会の実現を重要な施策に位置付けています。

社会教育のさらなる充実が全国的に求められている今こそ、社会教育委員一人一人が自己の役割について再度見つめ直し、身近なところにある絆を大切にしながら、人づくり・まちづくりに向けて具体的に行動することが求められていると考えています。

本大会では、全国の社会教育関係者が一堂に会し、「千葉で語り合おう！ 未来を築く 人づくり・まちづくり」のスローガンのもと、互いに研鑽し合い、求める社会教育の創造を図ります。特に分科会では、各地域での実践等について、情報を交換し交流を深め、つながりや支え合いを大切にしたい人と人との絆を基盤にした、活力あるコミュニティづくりの形成をめざす研究協議を行うことを趣旨とします。

千葉県は温暖な気候に恵まれ、さまざまな美しい花が一年をとおして咲き香り、四方を海と川に囲まれた水と大地に恵まれた自然豊かな風土となっております。当日は「おもてなしの心」をもって皆様を大切にお迎えしてまいりたいと考えております。

千葉県社会教育委員連絡協議会会長

平成28年度全国社会教育研究大会千葉大会実行委員会委員長 中山 清志

◇大会の概要

- 期 日 平成28年10月26日(水)～28日(金)
- 会 場 <全体会> 千葉県文化会館(千葉市中央区市場町11番2号)
<分科会> TKPガーデンシティ千葉(カンデオホテル千葉)
(千葉市中央区問屋町1-45)
- 大会日程

1日目 10/26 (水)											15:00	16:30	17:00	18:15		
											社教連理事会		事務局会議			
会場：TKPガーデンシティ千葉																
2日目 10/27 (木)	10:00		11:00		12:20		13:00		14:50		15:10		16:40		18:30	
	社教連総会				MUSIC		開会行事		講演会 13:50～ 14:50		休憩		シンポジウム 15:10～ 16:40		閉会行事	
			受付 10:30～12:15 分科会打合せ 11:00～												情報交換会	
千葉県文化会館														TKPガーデンシティ千葉		
3日目 10/28 (金)	8:45		9:15		12:00											
	受付		分科会別研修 【少人数による語り合い】		※分科会ごとに解散											
		TKPガーデンシティ千葉														

4. 分科会

分科会名	テーマ	内 容
第1分科会	学校教育支援の推進	学校教育を共に支える地域人材の育成
第2分科会	家庭教育支援の充実	家庭の教育力向上を図る支援のあり方
第3分科会	地域の教育力の向上	子どもをとりまく活気ある大人のネットワークづくり
第4分科会	社会教育委員の役割	人づくり・まちづくりを進める社会教育委員の役割(入門編)
第5分科会	災害に強い地域づくり	防災・減災、被災から復興を目指す中での社会教育の役割

5. 大会参加費 5,000円/人

平成28年度 社会教育委員連合 会長表彰受賞者

本年度の「社会教育委員連合会長表彰」の受賞者が決まりました。平成28年10月27日全国社会教育研究大会(千葉大会)開会式の席上で、次の68名の方々が表彰状を受けられます。

おめでとございます。

表彰状受賞者(敬称略)

Table listing award recipients by prefecture: 北海道 (北 氏), 青森 (青 仁木町), 岩手 (岩 久慈市), 宮城 (宮 多賀城市), 秋田 (秋 秋田市), 山形 (山 村山市), 福島 (福 相馬市), 茨城 (茨 古河市), 栃木 (栃 野木町), 群馬 (群 東吾妻町), 東京都 (都 昭島市), 神奈川県 (神 葉山市), 新潟県 (新 妙高市), 富山県 (富 入善町), 石川県 (石 中能登町), 福井県 (福 高浜町), 山梨県 (山 北杜市), 長野県 (長 佐久市), 岐阜県 (岐 高山市), 静岡県 (静 富士市), 愛知県 (愛 小牧市), 三重県 (三 紀北町), 滋賀県 (滋 滋賀市), 京都府 (京 舞鶴市), 大阪府 (大 能勢町), 兵庫県 (兵 猪名川町), 奈良県 (奈 御所市), 和歌山県 (和 和歌山市), 鳥取県 (鳥 湯梨浜町), 高知県 (高 土佐市), 愛媛県 (愛 愛媛市), 香川県 (香 まんのう町), 徳島県 (徳 藍住町), 山口県 (山 山口市), 広島県 (広 廿日市市), 岡山県 (岡 赤磐市), 鳥根県 (鳥 海士町), 高松市 (高 照佳), 岡山県 (岡 赤磐市), 井上和也, 重本繁行, 相原次男, 三好昭一郎, 山下美博, 長谷川修一, 岡山勇一, 金子美和子, 中村良一, 田口朝子, 川崎富雄, 児玉涼子, 江藤恒喜, 後藤泰範, 田村良弘, 西村光行, 花田房義, 末吉司, 網師本真季, 橋本真知子, 小田長

社教連制定 社会教育委員バッジ (Pins) 頒布価格1,620円. 申し込みは直接社教連へ 03-6380-18540

一般社団法人全国社会教育委員連合 表彰規程施行細則. 第一条 表彰は毎年度実施する。 第二条 表彰候補者を推薦する基準は次のとおりとする。 一 社会教育委員としての在任期間が原則7年以上(年齢は通算)の者が会長でその職を退いた者(この場合の「会長」とは、都道府県及び政令指定都市単位に結成された社会教育委員の団体の長) 三 関係職員として5年以上在職した者 四 年数の起算日は当該年度の4月1日とする。 第三条 都道府県の表彰者の人数の基準は、次のとおりとする。 一 推薦しようとする都道府県内の社会教育委員の人数が、1人から500人までは1人、501人から1,000人までは2人、1,001人から1,500人までは3人、1,501人から2,000人までは4人、2,001人以上は5人とする。 二 前項の要件のほか同等の条件の者がいる場合には、表彰者の人数はこの限りではない。 第四条 政令指定都市の表彰者は、全政令指定都市に対し3人とする。

事務局だより

平成28年度

第1回理事会・総会を開催

平成28年度第1回理事会・総会を、5月17日(火)に日本弘道会ビル8階講堂で開催しました。総会に先立ち、来賓の有松子文部科学省生涯学習政策局長から、文部科学省の施策についてお話いただきました。

続いて(1)平成27年度事業報告・決算報告(2)公益目的支出計画実施報告(3)第58回全国社会教育研究大会(千葉大会)(4)第59回全国社会教育研究大会(北海道大会)(5)第60回全国社会教育研究大会(青森大会)について審議され、いずれも原案どおり承認されました。

(6)「組織存続に関する緊急提案」については、事務局より①全国の社会教育委員に任意の寄附を募る②新たな提案(ア)会費の値上げ(イ)個人有志会員制度の発足(ウ)社教連から全国大会および地区大会への開催助成金の減額)について説明がありました。出席した正会員からの質疑、意見交換が行われ、全国の社会教育委

寄付金について

総会での議決承認を受け、社教連では、社会教育委員お一人お一人のご協力を呼びかける趣意書(説明資料付き)、お願いの文書、振込用紙(振込手数料は無料)等を作成し、7月に都道府

県・政令指定都市の社会教育委員連絡協議会宛発送いたしました。ご賛同いただいた皆様から寄附金が入金されはじめました。ご寄附いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。寄附者のご芳名は掲載希望者のみ機関誌「社教情報」(9月、2月発行)に掲載させていただきます。

員に任意の寄附を募る件については承認されました。この承認の際に「すべての社会教育委員が機関誌「社教情報」を購入するよう努力すること」を附帯決議すべきとの動議が発せられ、併せて承認されました。新たな提案のうち(ア)

(イ)については検討協議が十分尽くされていないことから、継続して審議することが確認されました。(ウ)については、さらなる慎重審議が必要であるとの意見を参酌し、再検討することとなりました。

指定都市社会教育委員連絡協議会に出席
5月27日(金)相模原市で開催された指定都市社会教育委員連絡協議会に、坂本登副会長が出席し

ました。

各県の総会にお伺いしています
今年度も、社教連の役員が各県の総会にお伺いしています。詳しくはホームページの役員動向コーナーをご覧ください。

平成28年度第2回理事会・総会
平成28年度第2回理事会を10月26日(水)、総会を10月27日(木)に千葉県千葉市内にて開催予定です。

第3回事務局担当者会議

都道府県・政令指定都市の事務局を対象とした、第3回事務局担当者会議を10月26日(水)に千葉県千葉市内にて開催予定です。

生涯学習支援実践講座

文部科学省認定・通信教育

生涯学習コーディネーターを養成

「生涯学習コーディネーター資格」が取得できます

いま、生涯学習領域で最も必要とされている生涯学習コーディネーター。生涯学習コーディネーター養成のための本格的研修講座。コーディネートの知識・技術が4か月間の通信教育で習得できます。

案内書 無料進呈!
詳しい案内書をご希望の方は、ハガキ・電話・FAX・メールでご請求ください。

一般財団法人 社会通信教育協会

「生涯学習コーディネーター研修」事務局 〒114-0015 東京都北区中里1-15-8
TEL.03-5815-8432 FAX.03-5815-8433

講座内容

第I単元(テキストI)

コーディネートの理解と技術

第II単元(テキストII)

地域学習情報の活用の理解と技術

第III単元(テキストIII)

コミュニケーションの仕方の理解

第IV単元(テキストIV)

事業の設計とマネジメントにおけるコーディネーター